



社内研修・社員教育の取り組み③

地域活性化をめざした持続可能な「ICT活用ビジネス」をテーマに**環境CSRビジネス研修**を実施



NTT西日本グループでは光回線サービスを活用し、人と人、人とモノ、モノとモノ等、あらゆるものを「つなぎ、デザインする」ことにより、人々の暮らしを豊かにする新しい文化の創造や、地方創生、地域・街の活性化への貢献をめざしています。また、持続可能な形で地域・街が活性化し、過疎が防止できれば、人により保たれてきた里山の自然・生態系を保全することにもつながることから、2014年度より、経済的にも持続可能な形で地域の活性化をめざした「環境CSRビジネス研修」を行っており、2015年5月14日・15日に京都府京丹後市大宮町大宮南地域で実施しました。

研修では、つねよし百貨店代表 東田一馬 様に集落で成り立つビジネスについてのご講話をいただいたほか、NPO京都村理事 菱川貞義 様からは、人と人、人と活動の共助関係を活かしながら経済的な活動を行うことが、集落環境で持続可能なビジネスを成功させるポイントであることや、共助関係を可視化する手法「つながりMAP」の作成方法についてご講話いただきました。

この研修を通じて、都市型のビジネスを導入するだけでは、真に地域を活性化させるソリューションは提供できないこと、地域経済の中で持続可能なビジネスモデルを検討しなければ意味がないこと、共助関係を活用することにより持続可能なビジネスが生まれることを学びました。

そして、「人と人をつなぐ」という点において、「楽しさ」を広める力を持っていること等、ICTサービスが大きな役割を果たすとともに、今後の地域の活性化に寄与することができる可能性について認識することができました。

環境CSRビジネス研修に関する詳しい情報は

http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/action/ach_201506_02/

